

大洗で培われた技術が結実 高速増殖炉「もんじゅ」初臨界



動力炉・核燃料開発事業団が昭和60年より、福井県敦賀市に建設を進めていた高速増殖炉(FBR)原型炉「もんじゅ」(電気出力28万kW)が炉心燃料集合体168体の装荷状態で4月5日、午前10時1分初臨界に達した。

「もんじゅ」は、これまで大洗工学センターの高速実験炉「常陽」及び50MW蒸気発生器試験施設を始めとする大型ナトリウム試験施設を用いて、数多くの研究開発を実施。高速増殖炉技術者を育て、その成果を「もんじゅ」の設計・建設・試運転に反映してまいりました。

このように「もんじゅ」は、大洗で培われた技術が数珠で実を結んだといっても過言ではありません。

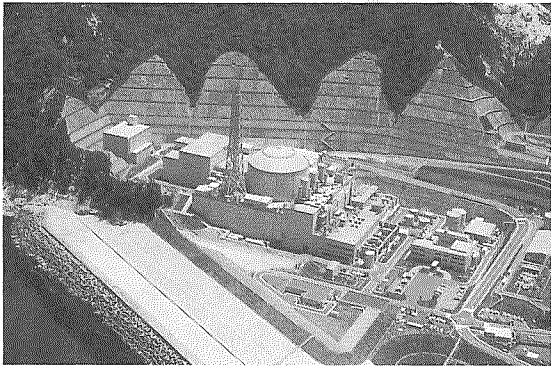
この日、動燃東海事業所に柴大洗工学センター所長をはじめ建設

や運転の研究に携わった方や地元自治体の関係者が会議室に集まり、福井県敦賀からテレビ電話システムを使って、大画面に映し出された「もんじゅ」中央制御室の実況中継を見入り、午前10時1分運転開始にあたる核分裂反応が安定して起こる「臨界」に達したことが分かる画面を見ていた人達から一斉に拍手が起こり初臨界を喜んでいました。

「もんじゅ」の臨界により、無資源国である我が国が進めているフルタイム利用への道を切り開き、大きな一歩をふみだしたことになります。

今後は、炉物理試験などを経て、来年の4月に初併入、12月に本格運転を目指しています。

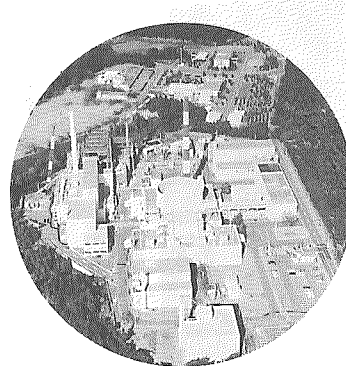
▲初臨界を発表する柴所長



▲原型炉「もんじゅ」



▲「もんじゅ」中央制御室



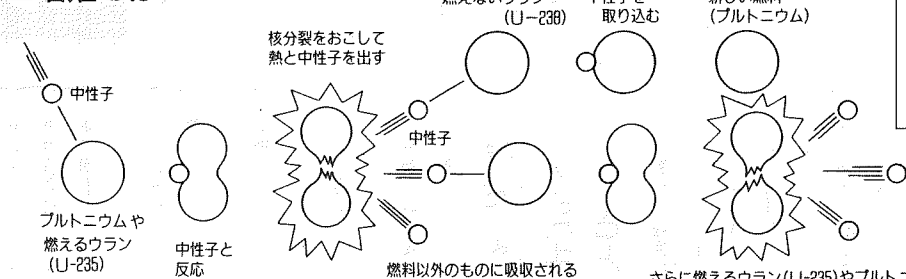
▲大洗工学センターの「常陽」

高速増殖炉とは

プルトニウムを燃料とし、一緒に入れてあるウラン(U-238)がプルトニウムにかわることを利用して、燃えたプルトニウムより多くのプルトニウムを生成する仕組みの原子炉です。

[写真提供：動燃大洗工学センター]

■増殖とは……



スピードの速い中性子が、燃えないウラン(U-238)に吸収されて、新しいプルトニウム燃料が生まれます。しかも、燃えた燃料より多く生まれるため、このことを「増殖」といいます。

さらに燃えるウラン(U-235)やプルトニウムは、核分裂をくりかえし、エネルギーを出し続けます。

「もんじゅ」命名の由来

高速増殖原型炉「もんじゅ」の名称は、釈迦如来の左の脇士、文殊菩薩に由来します。

文殊菩薩は、智慧を象徴し、獅子に乗っておられます。

それは強大な力をもつ巨獣を智慧で完全にコントロールしている姿です。

原子力の巨大なエネルギーもこのようにコントロールし、科学と教学の調和の上に立つのであれば人類の幸福は望めます。

高速増殖原型炉に「もんじゅ」と命名されました。

歳時記

しゃぼん玉

ストローの先にせっけん液をつけて、反対側からソッと息を吹き込むと、光で色づいた玉が飛んでいく。しゃぼん玉は、子どものころからおなじみの遊びですね。ところで、最近の子どもの間に聞いたところ、しゃぼん玉はみんなが知っていました。しかし、しゃぼん玉という言葉の意味を知らない子がかなりいました。

しゃぼん玉という言葉はせっけんという意味で、ポルトガル語のサボン(Sabon)が語源です。お年を召した方の中には、しゃぼんという言葉を使っていた記憶がある人も多いと思います。

しゃぼんがポルトガルから伝えたのが十六世紀、しゃぼん玉遊びは十七世紀のはじめに、江戸にしゃぼん玉売りが登場したのが最初といわれています。

箱を首にかけ、しゃぼん玉を吹きながら、「玉や、玉や」といって売り歩く姿は、江戸の風物詩でした。

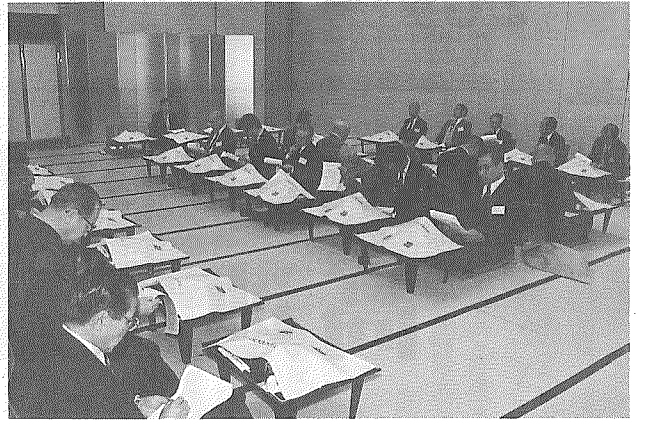
後に、京都にもしゃぼん玉売りが現れました。こちらは、「吹き玉や、しゃぼん玉、吹けば五色の色が出る」といって売り歩いていたそうです。

最近では、洗剤やシャンプー、ボディソープなどでも、手軽にしゃぼん玉をつくって遊ぶことができます。ただし、幼児がしゃぼん玉で遊ぶときは、親と一緒に注意して事故が起きないように注意したいものです。

ところで、しゃぼん玉は春の季節です。しゃぼん玉の飛ぶのを追って空を見上げたら、そこに鳥の姿が……などということもあります。五月十六日は、「愛鳥週間」。野鳥と人間の共存する住みよい環境を守っていくことに、関心をもちたいものです。



大洗親交クラブ例会で 竹内町長新年度の予算を説明



会員の親睦と地域の奉仕活動に力を入れている大洗親交クラブでは、竹内町長を招いて、3月25日(町長の誕生日)に茨交ホテルに於いて、平成6年度予算の説明を受けていました。

クラブは、38名で構成され5名の世話人と幹事で運営、毎月講師を招いて卓話や見学会、歳末助け合い運動等奉仕活動を積極的に行い、町の繁栄に寄与している団体です。

今回の月例会は、3月18日に議決されたばかりの平成6年度予算の内容を聞くという開いたもので、31名が出席して行われました。

竹内町長は、総額123億8、974万円の予算の概要を説明したあと、今年度の新規事業の大洗マリンタワーライトアップ事業等9件を1件ごとにユーモアを入れて、詳しく説明し、事業推進の協力を訴えていました。

会員の皆さんは、新規事業の説明に関心をもち熱心に聴きこっていました。

卓話後、3月31日で退会される大竹南中学校長、近藤動燃大洗工学センター管理部長の送別の宴を開き、会員の親睦を深めていきました。

憲法週間によせて

憲法施行を記念して、5月1日から7日までを憲法週間と定め、関係機関では、基本的人権思想の普及高揚に努めています。

基本的人権尊重の思想は、日本国憲法が施行されて46年を経過した今日、国民の間に着実に定着しつつありますが、自己の権利のみを主張するあまり、他人の基本的人権を軽視する風潮が、いまだに跡をたえません。特に「いじめ・体罰事件」については、今や大きな社会問題となっており、また、今日の我が国は、急速な

経済的發展を遂げる中で、諸外国との人的・物的な交流により、名実ともに国際化時代を迎えつつありますが、その結果各種の新たな人権問題が生じるとともに、従前から在任している外国人に対する人権意識についても改めて問題が提起されています。

憲法週間に当たり、相手の立場を考慮することによって人と人との結びつきを強め、学校、家庭、社会生活を楽しく平和にすることを、もう一度考えなおして、豊かな人間関係をつくりましょう。

町職員の人事異動

平成6年4月1日付で、大洗町職員の人事異動がありました。

()は前職名

(課長級)		
総務課	課長	長 檜山昭 (税務課長)
総務課	主査	萩沼武夫 (保健課長)
企画課	課長	大谷義彰 (町長公室長)
税務課	課長	小沼洋一 (福祉課・福祉係長)
住民課	課長	小松崎忠 (保健課・国民健康保険係長)
保健課	課長	田山康衛 (総務課長)
商工観光課	課長	郡司治男 (建設課長)
建設課	課長	江幡重和 (県職員)
下水道課	課長	高橋忠幸 (住民課・国民年金係長)
出納課	課長	小松崎力一 (教育委員会事務局)
教育委員会・学校教育課	課長	菅谷典儀 (出納室長)
教育委員会・生涯学習課	課長	
(係長級)		
企画課・秘書広報公聴係	係長	荷口孝 (秘書広報公聴係長)
税務課・収納係	係長	関根伸行 (収納課・収納係長)
住民課・国民年金係	係長	荒木充夫 (教育委員会・主任)
福祉課・福祉係	係長	武藤美智子 (企画課・主任)
第一保育所	主任	坂本とよ (第二保育所主任)
第一保育所主任	主任	郡司かね子 (第二保育所主任)
生活環境課・生活環境係	係長	米川正一 (生活環境課・生活環境係長)
生活環境課・交通安全係	係長	櫻井努 (水道課・営業係長)
保健課・国民健康保険係	係長	大貫正武 (保健課・主任)
建設課・建設管理係	係長	関根清 (建設課・建設管理係長)
建設課・土木係	係長	小沼博美 (水道課・施設係長)
建設課・建設管理係	係長	小野瀬喜一 (建設課・建設管理係長)
下水道課・下水道管理係	係長	米川雅博 (都市計画課・主任)
下水道課・下水道管理係	係長	石川安志 (都市計画課・主任)
下水道課・下水道管理係	係長	石川清隆 (都市計画課・主任)
下水道課・下水道管理係	係長	谷村広樹 (生活環境課・交通安全係長)
出納室・出納係	係長	谷村重毅 (教育委員会・学校教育係長)
教育委員会・学校教育係	係長	田中重毅 (教育委員会・学校教育係長)
教育委員会・生涯学習係	係長	石井孝夫 (教育委員会・社会教育係長)
教育委員会・生涯学習係	係長	井上裕美 (運動公園施設管理係長)
運動公園施設管理係	係長	海野正広 (水道課・庶務係長)
水道課・庶務係	係長	鈴木利博 (都市計画課・主任)
水道課・施設係	係長	小沼洋一 (消防署・第2中隊長)
消防署・副署長	副署長	
(一般職)		
茨城県派遣・主任	主任	田山修 (福祉課・主任)
総務課・主任	主任	清宮和之 (税務課・主任)
企画課・主任	主任	杉山和子 (町長公室・主任)
企画課・主任	主任	深作和利 (都市計画課・主任)
税務課・主任	主任	江面とみ (収納課・主任)
税務課・主任	主任	川島健一 (収納課・主任)
住民課・主任	主任	関根明敏 (茨城県派遣・主任)

第二保育所・主任 江戸きみ (福祉課・第一保育所主任)
第二保育所・主任 田山弘子 (福祉課・幼稚園・教諭)
生活環境課・主任 照沼千恵子 (都市計画課・主任)
生活環境課・主任 篠原靖治 (福祉課・主任)
保健課・主任 長我部ゆみ子 (建設課・主任)
保健課・主任 佐藤邦夫 (住民課・主任)
保健課・主任 長谷川満 (総務課・主任)
都市計画課・主任 錦木幹雄 (生活環境課・主任)
下水道課・主任 横田孝 (建設課・主任)
下水道課・主任 山本英二 (土地開発公社・主任)
教育委員会・南中学校・主任 篠崎紀代子 (町民会館・主任)
教育委員会・幼稚園・教諭 米川あさ (第一保育所主任)
※課の名称変更に伴う発令は省略します。

(新採用職員)
保健課・主任 大川洋一 (平成6年4月1日付)
税務課・主任 久保木浩志 (平成6年4月1日付)

(退職者)
小野崎剛 消防本部・消防長 (平成6年3月31日付)
八木逸郎 収納課長 (平成6年3月31日付)
田中温子 第一保育所・所長 (平成6年3月31日付)
服部広子 第二保育所・主任 (平成6年3月31日付)
中川淳 生活環境課・主任 (平成6年3月31日付)
市毛甲太郎 生活環境課・主任 (平成6年3月31日付)
江間博 生活環境課・主任 (平成6年3月31日付)
山口静江 教育委員会・主任 (平成6年3月31日付)

県政情報紙が月刊化 各世帯に新聞折込みで 配布されます。

県では、昨年度まで年四回発行していた県政情報紙(県だより)を、今年4月から名称や掲載内容を一新し、毎月発行することになりました。是非御覧ください。



分かりやすく県政を解説した記事をはじめ、女性特派員レポート、季節の話題、イベント情報など楽しく生活に役立つ情報を満載して、各世帯にお届けいたします。

発行日は毎月1日を原則とし、発行日に最も近い日曜日に、新聞折り込みによって配布します。

●問い合わせ先
茨城県総務部知事公室広報公聴課
広報編集担当 ☎26-7045

年金だより

保険料の免除制度について 申請免除受付中

国民年金に加入している農林漁業や商業・サービス業などの自営業の方とその家族の方および大学や専門学校などの学生の方は、保険料一ヶ月一万一千円を毎月納めることになっておりますが、長い加入期間のうちには、やむをえない理由で保険料を納めることが困難となり滞納してしまうこともあるかと思われまます。

こうした時に、そのまましておきますと、二年を経過した分の保険料は、時効によって納めることができなくなり、将来年金を受け取るための最低年数を確保できなくなる場合があります。

国民年金では、このような事態がおこらないように、次のような要件で、どうしても保険料が納められないときは、申請して承認を受ければ保険料が免除される制度が設けられております。

(申請免除の要件)
①所得の少ない方や病気やケガ
税だより

3月末決算法人の消費税の 申告と納税は5月31日まで

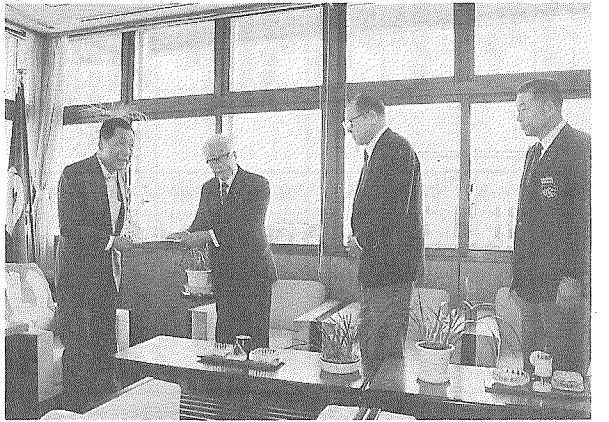
《消費税の確定申告と納税は正しくお早めに》
3月末決算法人のうち消費税の課税事業者が該当する法人は、平成6年5月31日が消費税の申告と納税の期限です。必ず期限内に所轄の税務署へ申告書を提出されたとともに、納税を済ませてください。

《消費税の課税事業者には該当する法人とは?》
消費税の確定申告が必要な法人は、次の法人です。
①前々事業年度(3月末決算法人の場合、平成3年4月1日)

平成4年3月31日の課税売上高が3千万円を超える法人。
②消費税課税事業者選択届出書を提出している法人。
《確定申告書の提出が遅れると》
確定申告書の提出が遅れますと無申告加算税がかかります。
《納税が遅れると》
納税が遅れますと、平成6年6月1日から同年7月31日までの間は年7・3%、8月1日以降は年14・6%の割合で延滞税がかかります。
詳しくは、最寄りの税務署・税務相談室でお尋ねください。



地域振興にと 3,000万円を町に協力寄付 大洗ゴルフ倶楽部



今年も、「町の地域振興事業に役立てて下さい」と3月30日、株式会社水戸カンツリー倶楽部（吉山博吉社長）が経営する大洗ゴルフ倶楽部の菊池不二夫常務、石井藤吉郎理事、小森晃支配人、川崎隆史総務次長さんの4名が町長室を訪れ、竹内町長に3千万円の地域振興協力寄付金の目録を手渡ししました。

これは、大洗ゴルフ倶楽部の敷地は、町有地と県有地を借り受けて運営しているため、利益は地域に還元したいと、地域振興協力を金を出したものです。

協力寄付を受けた竹内町長は、「地域振興のため、有意義に使わせて頂きます」とお礼の言葉を述べていました。

有難うございました。

交通の安全を願って

カーブミラーを清掃



清掃に取り組む会員

平成6年春の全国交通安全運動（4月6日から15日まで）を前に、4月3日（日）小泉建築協会の（泉友会・関根精一会長外19名）の皆さんが、交通安全を願って今年も、カーブミラーの清掃と点検作業の奉仕活動を行いました。

当日は風も強い中でしたが、会員の皆さんは、町内を各班に分かれて、各自が持ち寄ったガラスクリーナー等の清掃用具を使い、カーブミラーを磨いたり、曲がったミラーの調整に思い汗を流していました。

ドライバーの皆さん、この様に陰で交通安全防止を願っている人達がいることを忘れず、交通ルールをよく守り、交通事故をおこさないように注意しましょう。

会員の皆さん、ご苦労様でした。

ふれあい花づくり で交流

高年者クラブのみなさん

町高年者クラブ連合会（田山巴会長）会員の皆さん方の手によって、毎年「花のある、ふるさとづくり」が積極的に推進、地域の皆さんの目を惹きつけております。

これは、高年者の生きがい事業の一環として、花づくりを通じて会員相互の心のふれあいの場として、また社会参加の場として行われています。

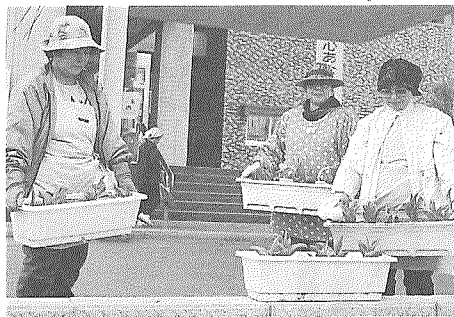
昨年11月下旬に、チューリップの球根（2,000球）をプランタ

に植え込み、丹精込めて育ててきました。

開花の時期を迎えた、去る4月11日高年者のみなさんは、役場前広場に集合して、赤・黄・ピンク色のかわいいチューリップを区分けして、役場庁舎前・文化センター・大洗駅・マリントワー等に飾りました。

多くの方々に観賞して頂きたいと設置したものです。

大型連休まで、咲いていてほしいですね。



役場庁舎前へ飾花中のみなさん

好天に恵まれた天妃祭



初夏を感じさせる陽気の中、天妃祭（祝町）が、4月17日（第3日曜日）に行われ、大勢の町民のみなさんで賑わいました。

実行委員会が用意した「ハッピー」に身を包んだ、大勢の子ども達やお父さん、お母さんが参加。子ど

も御輿と山車を午前、午後には渡って町内を練り歩き、楽しい一日を過ごしていました。

来年も皆さん、ぜひ参加して下さいませ。

〇申し込みは、左記へ
祝町子供御輿実行委員会
会長 石崎文央 ☎66-11948
事務局 渡辺和男 ☎67-5510

看護の日 看護週間 五月十二日 五月八〜十四日



看護の日
看護週間
五月十二日
五月八〜十四日

春の行政相談週間

5月22日より
5月28日まで

機関との間に立つて話し合い等を行い、問題解決のため協力する仕事を行います。行政相談委員は、総務庁長官が民間の有識者の方に依頼していますが、現在、全国で5千人を超える委員が、くらしと行政をつなげるパイプ役として身近なところで活躍しています。

大洗町の行政相談委員は、小野崎剛さんです。自宅や定例相談所などで常時相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談下さい。

相談は無料で、秘密は厳守されます。

大洗町行政相談委員
小野崎 剛（おのさき・こう）
住所：大洗町磯浜町819番地
☎ 67-20024



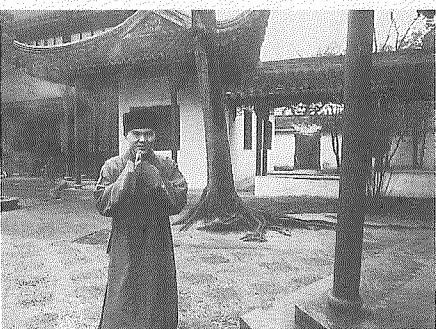
フォト⑭

モデル撮影会でソフトレンズを使って撮影してみました。
135ミリソフトレンズ F2.8
開放 1/125



〔評〕 傘の切り方が非常に印象的です。完成度の高い写真に仕上がりました。（絹針 弘己）

中国撮影ツアーで蘇州の寒山寺でのスナップです。
20〜35ズーム F5.6 オート
立原 昌彦



〔評〕 遠近感がよく表現されていますね。また、中国情緒もうまく表わされています。（絹針 弘己）

歌壇 勝山一美選



夫の燃やす古きオルガン目守り
つつ吾は掌合す狭庭に立ちて
心の感動から生れる所産である。

〔評〕 使用に耐えなくなったオルガンを、決断の末燃やしてしまふことになった。庭に運び出され、そして夫の手で火はつけられた。オルガンへの懐古の情はひとしおのものがあろう。作者はいつか掌を合せているのである。人間の真情の表れとして尊い姿である。

木蓮の花びら白くほころびて朝の目覚めの心豊けし
〔評〕 平易に気負うところなく詠みあげているところがいい。庭先の木蓮がほころび出す時、不思議なまでのやすらぎを覚える。美しいものを美しいとして心に映するとき、朝の目覚めは祝福となる。

潮風まともに受けて磯馴松春の傾斜に幹を太らす
〔評〕 岬山を散策しながら、目の前の風景をよく捉えている。海よりの強い風を受け、傾斜面に抗うようにも枝を張る松。しかもその枝は逞しく試験に耐えてしっかりと枝を伸ばしているというのだ。

わが家の屋根見上げればしらじらと辛夷の花の散りいてやさし
〔評〕 こぶしは春の末、見事な花をつけて高々と咲き誇る姿をみせてくれる。ふと見上げたとき、屋根に散り敷く白い花々に

先月の右の一首、「山峽を」は「山峽を」の間違いでした。訂正してお詫び致します。

春はやく廃虚となりしスーパ―に主なき猫の迷えるあわれ
〔評〕 岬山を散策しながら、目の前の風景をよく捉えている。海よりの強い風を受け、傾斜面に抗うようにも枝を張る松。しかもその枝は逞しく試験に耐えてしっかりと枝を伸ばしているというのだ。

風邪に伏し風目に入らず酒のま
ず眠られぬ夜は詩歌も生れず
蔵前 田山佳男

山峽をぬけて車窓に展げる遠
山脈は雪にかがよふ
寺釜 佐藤よし子

先月の右の一首、「山峽を」は「山峽を」の間違いでした。訂正してお詫び致します。

春はやく廃虚となりしスーパ―に主なき猫の迷えるあわれ
〔評〕 岬山を散策しながら、目の前の風景をよく捉えている。海よりの強い風を受け、傾斜面に抗うようにも枝を張る松。しかもその枝は逞しく試験に耐えてしっかりと枝を伸ばしているというのだ。

潮風まともに受けて磯馴松春の傾斜に幹を太らす
〔評〕 岬山を散策しながら、目の前の風景をよく捉えている。海よりの強い風を受け、傾斜面に抗うようにも枝を張る松。しかもその枝は逞しく試験に耐えてしっかりと枝を伸ばしているというのだ。

わが家の屋根見上げればしらじらと辛夷の花の散りいてやさし
〔評〕 こぶしは春の末、見事な花をつけて高々と咲き誇る姿をみせてくれる。ふと見上げたとき、屋根に散り敷く白い花々に

先月の右の一首、「山峽を」は「山峽を」の間違いでした。訂正してお詫び致します。

春はやく廃虚となりしスーパ―に主なき猫の迷えるあわれ
〔評〕 岬山を散策しながら、目の前の風景をよく捉えている。海よりの強い風を受け、傾斜面に抗うようにも枝を張る松。しかもその枝は逞しく試験に耐えてしっかりと枝を伸ばしているというのだ。

